

1ミリで、ニュースの印象は変わる。

新聞の紙面を作る、それが編成の仕事である。

自社の記者が書いた記事と、

通信社から送られてくる世界と全国のニュースを吟味し、

どれを掲載すべきか考える。

拾うニュースよりも、捨てるニュースの方がほとんどで、

いつもこれでよかったのかと自問自答が尽きることはない。

次に、選んだ記事の見出しを作る。

記事の核心を一言で表せているか、読みたくなるか、

誇張はないか、文字量は適切か。

文字数が少なければ文字はもっと大きくできる。

言葉を短く書き換えるための語彙力も必要だ。

完成した見出しと記事を紙面に配置する。

パツと紙面を開けた時、読者はどちらに目が行くか。

どういう順序で読んでほしいか。

1ミリでも変われば印象は変わる。

試行錯誤で夜は更けていく。

新聞を配ることは、気を配ること。